

## 障害者運動ひと筋？

塩見洋介

# アラウンド GOGO 55



障害者運動とのかかわりもそんな流れの延長で、自ら「障害者運動に身を投じる」どの強い決意もなく、まわりから求められるまま大学卒業とともに障害者(児)を守る全大阪連絡協議会の事務局専従となった次第です。

\*

そしてそのまま50代の半ばを過ぎました。私のことを「障害者運動ひと筋」のように見てくれる人もいたりしますがそれは大いなる誤解です。もちろん障害者運動から求められることに応じることができるよう努力してきたつもりですが、要するに周りからの要請や期待に応えるという域を出ていません。

さて、これからの私の人生ですが、我が哲学に照らして強く発信することのできる主体として育っていくことが課題となつているのだろうと考えています。錦織選手の大健闘に見習い、そんな大きな目標に向かって研鑽を積んでいきたいと思えます。

り返す中、もっぱら場になじむことや相手に合わせる術に長け、相手から求められることを読み取りそれを自分なりにこなすことを通して自分を保ってきたように思います。高校のテニス部で芽が出ず面白くない練習から逃げるように、友人から誘われるままフォークソング研究会を立ち上げ部長に就任。大学に入って本格的に音楽をやりたいとの思いはあつたものの、学生寮の先輩に誘われるままセツルメントに参加し、青年運動の就職就任の依頼があればセツルメントを辞めてそちらにとりかかるとなると。

8月に56歳になりました。原稿依頼をいただき締め切りがせまる中「何を書こう」と悶々としているとき、錦織圭選手がテニス全米オープン準決勝で世界ランク1位のジョコビッチを破つた！とのうれしいニュースが飛び込んできました。小さいころからテニスひと筋。しつかり目標を持った日々の研鑽のたまものですよね。

\*

ひるがえって私自身は〇〇ひと筋という生き方からは、まるで遠い生き方をしてきました。父の仕事の関係で小さい時から引越し・転校を繰

(大阪障害者センター)